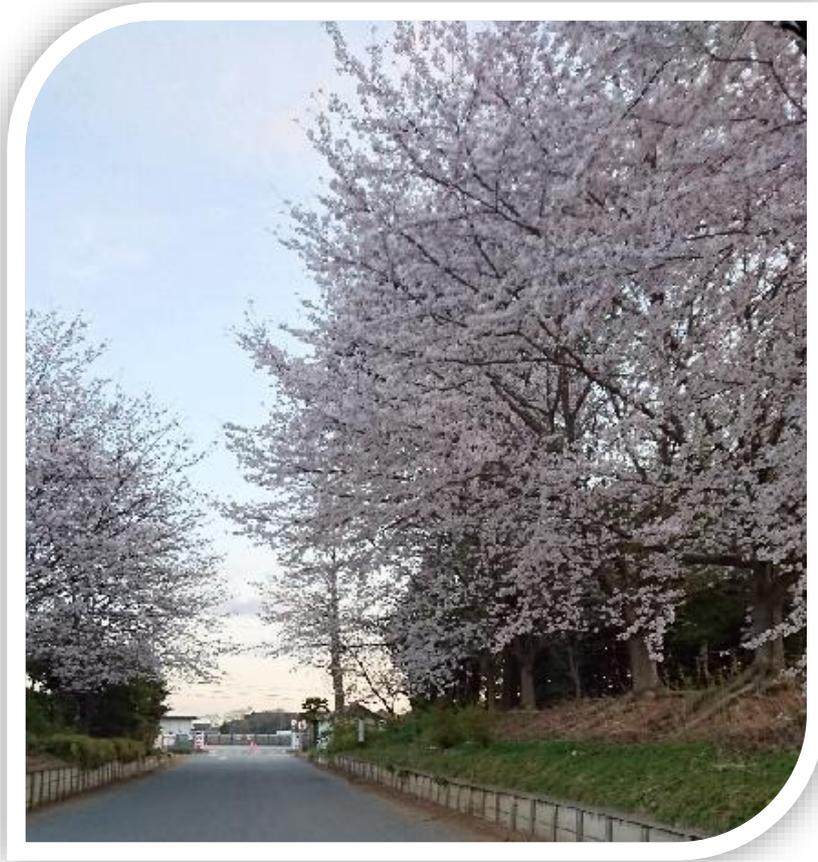


2024年度

環境経営レポート



2024年8月19日作成

(2023年8月1日～2024年7月31日)

認証・登録日：2010年3月11日

株式会社 ヌキ工業



代表取締役社長

中野 薫

目次

	ページ
(1) 環境経営方針	… 1
(2) 事業概要	… 2～3
(3) 許可の概要	… 4
(4) 受託した産業廃棄物の処理量	… 5
(5) EA21推進体制	… 6
(6) 環境経営目標とその実績	… 7～9
(7) 環境活動計画の取り組みと評価	… 10
(8) 環境関連法規制の遵守	… 11
(9) 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	… 11

環境経営方針

〔環境理念〕

我々の住む地球は、地球温暖化の影響で様々な災害に直面している現状です。(株)ユキ工業は、廃木材を良木材はパルプ・ボード材の原料とし、その他はバイオマス燃料として有効利用し、CO2の削減に取り組んでいます。限りある資源・環境保全の為、積極的に環境管理を活用・維持し資源循環型社会の一翼を担い、かけがえのない地域・社会のため全社員一丸となって貢献していきます。

〔環境方針〕

1.環境関連の法令遵守

環境及び事業活動において関係する法令・規制などを守り業務にあたります。

2.CO2排出量の低減の推進

節電・エコドライブ等の積極的な推進でCO2排出量の低減に努めます。

3.節水活動の推進

工場で使用する水資源の節約や有効利用に積極的に取り組みます。

4.廃棄物（産業廃棄物・一般廃棄物）の3R化の推進

廃棄物の分別収集を推進し、再資源化など3R活動に積極的に取り組みます。

5.環境啓発活動の展開

環境保全活動を進める為、従業員に環境経営方針・環境経営目標・実施体制を周知し保全意識を向上させ活動体制を整えます。

6.地域活動として社会貢献活動の展開

自社の環境整備にととまらず、近隣住民・地域への環境配慮に務めます。

7.グリーン購入の推進

環境にやさしいエコ商品の優先購入や購買品の管理を推進します。

2023年 8月 1日

株式会社ユキ工業
代表取締役 中野薫

事業概要

(1)事業者名及び代表者名

株式会社 ユキ工業

代表取締役 中野 薫

(2)設立年月日

昭和60年12月24日 設立

(3)所在地

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3153-1

(4)環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 川原 康伸

担当者 専務 中野 扶美子

部長 中野 智史

連絡先 TEL0276-86-5650

(5)事業の内容

産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬

(6)認証・登録の対象範囲

株式会社ユキ工業 全組織、全活動

(7)事業の規模

資本金 10百万円

売上高 売上高区分 A：5億円未満

事業年度 8月1日から7月31日

従業員数 18人（パート含む）

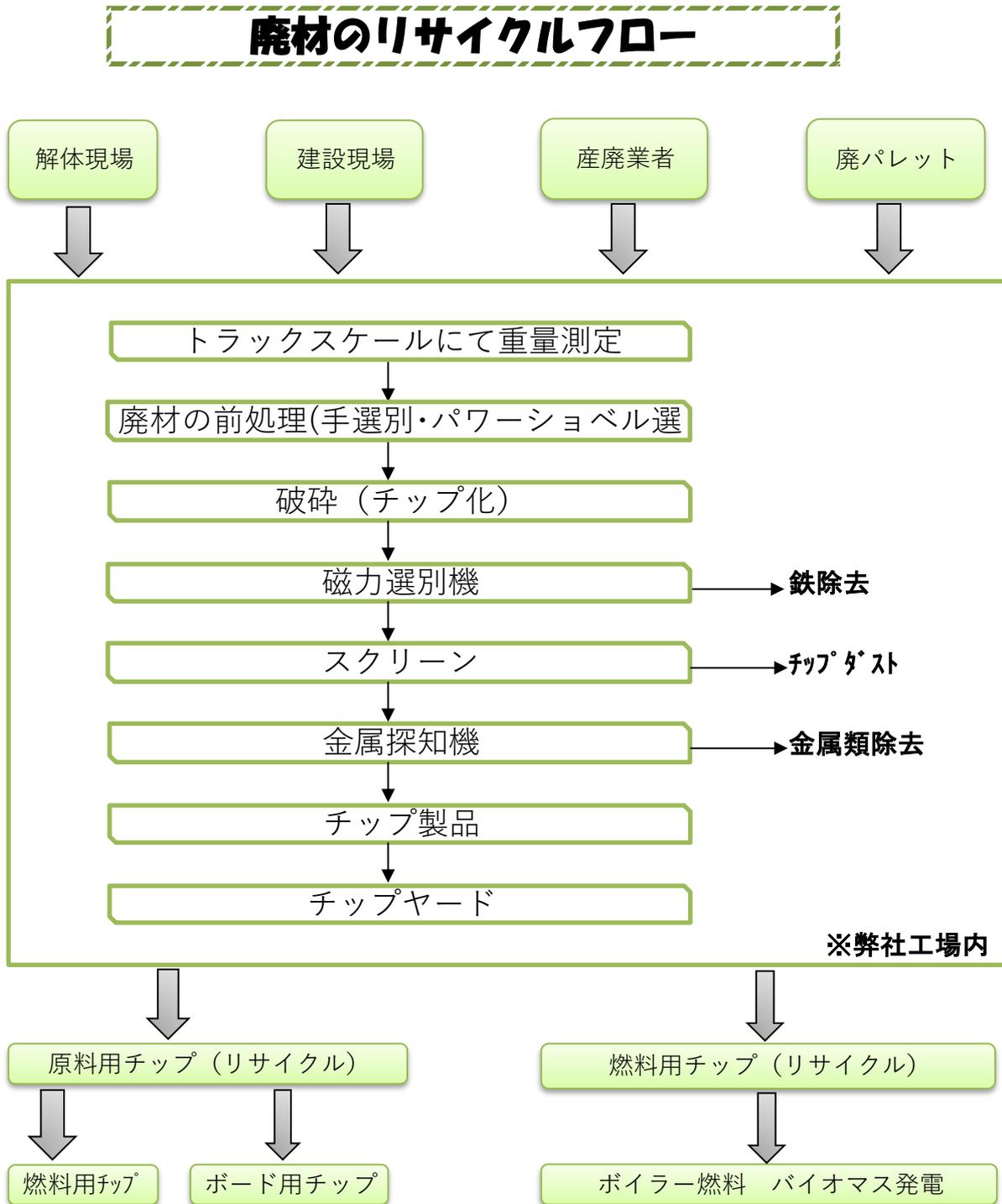
就業時間 8：00～17：00

年間稼働日数 292日

敷地面積 8335 m²

受託費用 別途見積による

(8)処理工程



許可の概要

(1)産業廃棄物処分業許可

許可番号	01020044864
許可の年月日	令和3年12月31日
許可の有効期限	令和8年12月20日
事業の区分	中間処理（破碎）
産業廃棄物の種類	木くず
施設の種類	破碎
処理能力	160 t / 日

(2)産業廃棄物収集運搬業許可

県名	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限
群馬県	01000044864	令和3年12月21日	令和8年12月20日
東京都	01300044864	令和6年1月5日	令和11年1月4日
埼玉県	01104044864	令和4年10月3日	令和9年9月30日
栃木県	00900044864	令和2年10月31日	令和7年10月30日
茨城県	00801044864	令和2年9月18日	令和7年7月7日
千葉県	01200044864	令和4年3月1日	令和9年2月14日

事業の区分 収集、運搬

許可の条件 なし

産業廃棄物の種類

廃プラスチック、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず
及び陶磁器くず、がれき類

(3)一般廃棄物処理業

千代田町	第5-14号	許可年月日	令和5年11月12日
		有効期限	令和7年11月11日

(4)収集運搬車両

10t ウイング	・・・1台
4tアームロール車	・・・3台
10tアームロール車	・・・4台
10tチップ車	・・・3台
10tチップダンプ車	・・・4台
10tトレーラー車	・・・1台

(5)重機車両

ホイールローダー	・・・3台
フォークリフト	・・・1台
油圧ショベル	・・・5台

受託した産業廃棄物の処理量

2023年4月～2024年3月

事業の区分	廃棄物等種類	処分方法等	処理量†
中間処理	木くず	破 碎	32,500.0

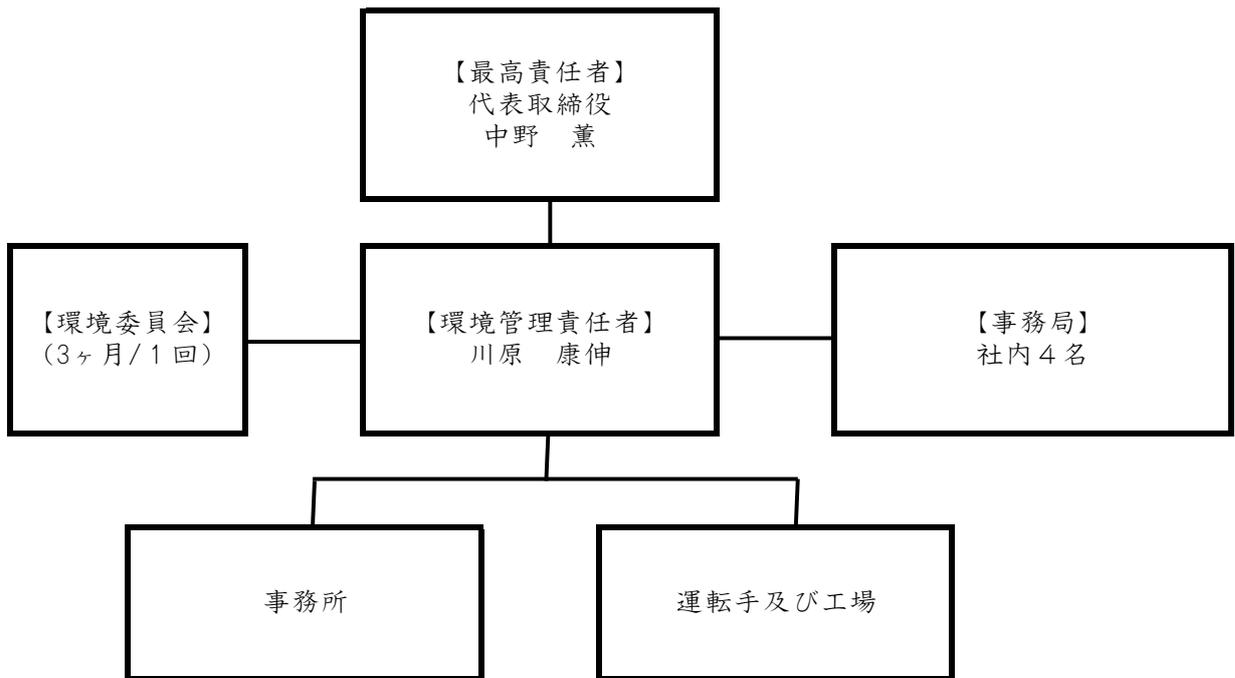
※一般廃棄物受入量34.8†

事業の区分	廃棄物等種類	処分方法等	処理量†
収集運搬	木くず		4,520.0



Yuki
industry

EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 中野 薫】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【川原 康伸】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【社内4名】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、3ヶ月/1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

環境経営目標とその実績

1. 主要な環境経営目標と環境負荷・実績

環境経営目標	基準値	今年度目標		1年後の目標	2年後の目標	環境活動計画 実施事項
	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	
	実績	目標	実績	目標	目標	
①売上高100万円当たりのCO2排出量の削減(kg/百万円)	1934.8	2023年実績に対して1%削減 (1915.4)	× 1933.3 (+0.9%)	2023年実績に対して1.5%削減 (1905.7)	2023年実績に対して2%削減 (1896.1)	①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備
②一般廃棄物(総量)の削減(t)	0.23	2023年実績に対して実績値以下 (0.23)	× 0.25 (+8.6%)	2023年実績に対して実績値以下 (0.23)	2023年実績に対して実績値以下 (0.23)	①分別ルールの徹底 ②排出業者との契約書の確認 ③マニフェスト管理方法の徹底 ④裏紙使用ルールの徹底
③水資源投入量(総量)の削減(m ³)	368	2023年実績に対して1%削減 (364)	× 412 (+13.1%)	2023年実績に対して1.5%削減	2023年実績に対して2%削減	①毎月のメータの確認(漏水防止) ②雨水の有効利用
④排出事業者への廃棄物取扱の指導(件)	5.5件以下/月	5.5件以下/月	○ 2.9 件/月	4.9件以下/月	4.9件以下/月	①指導件数
⑤自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	—	—	—	—	—	①収集運搬車両の運行前点検 ②場内の整理・整頓 ③破碎機の日常点検 ④破碎機の定期点検 ⑤敷地境界騒音・振動測定

※使用した電気のCO2排出係数は、2023年度東京電力エナジーパートナーの調整後CO2排出係数：0.408kg-CO2/kWH 使用。

※CO2総排出量は、829,384.6kg-CO2であった。

※産業廃棄物総排出量は、8.5m³。

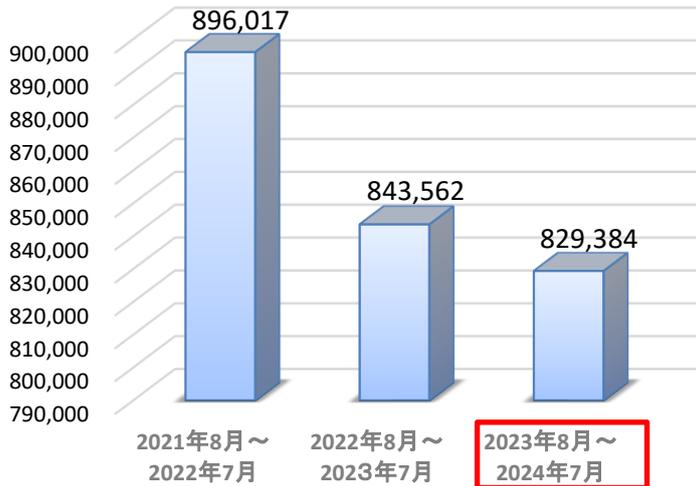
※一般廃棄物総排出量は、256kg。

※市水使用量は、412m³。

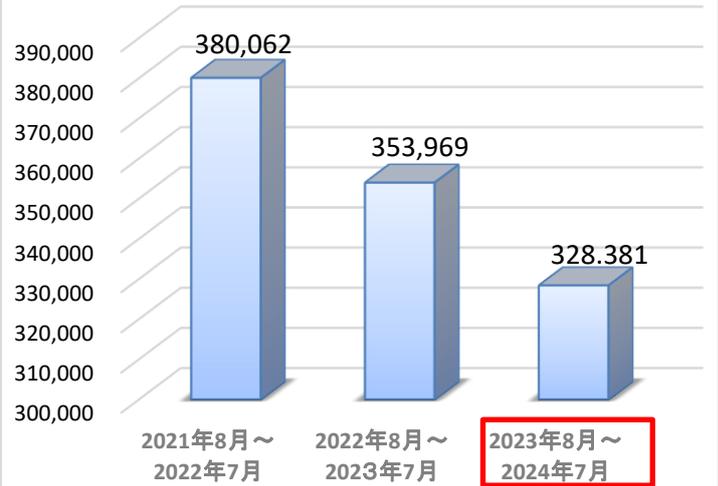
※当社で使用する化学薬品には『P R T R法』に該当するものは、ごく少量のものを除いてほとんどない。したがって、削減目標は定めずに維持管理とする。

【3年間の比較】（1）

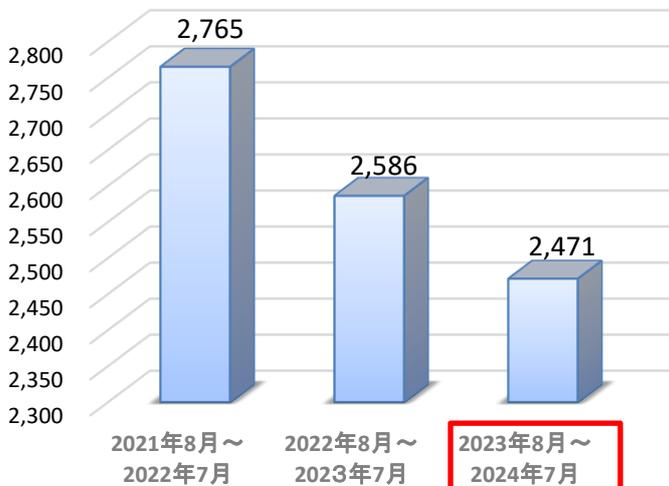
① 二酸化炭素/(kg-CO₂)



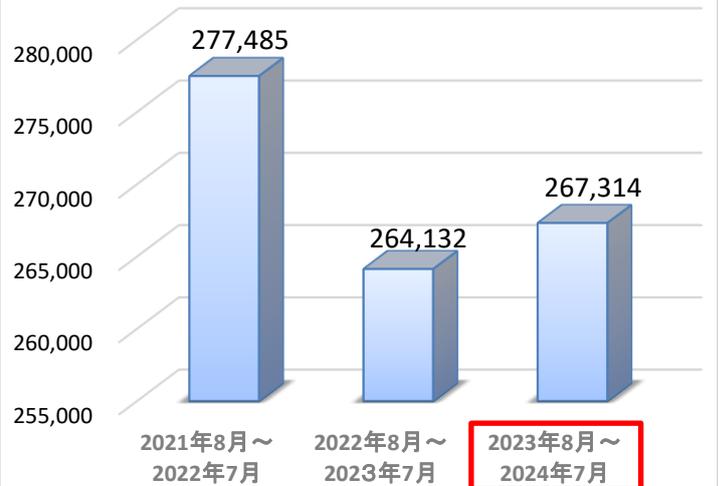
② 電気使用量/(Kwh)



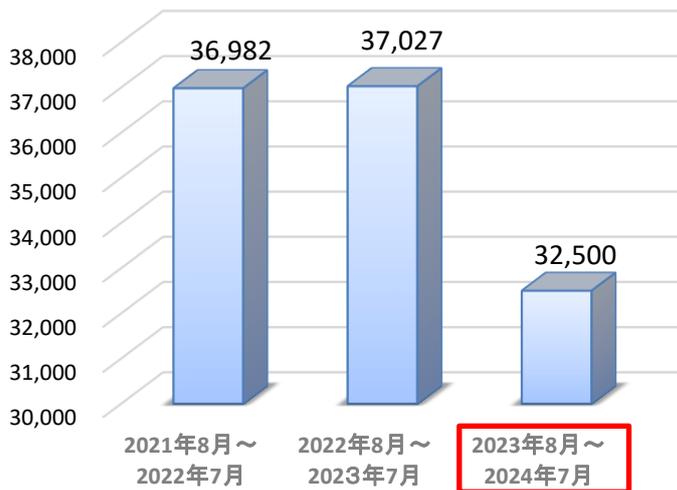
③ ガソリン/(L)



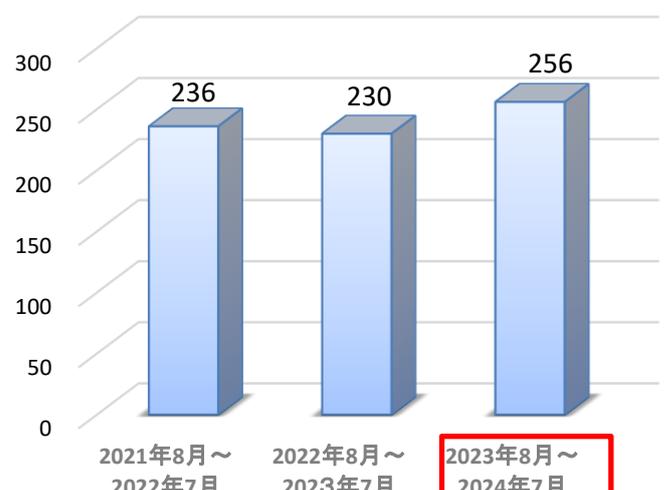
④ 軽油/(L)



⑤ 産業廃棄物中間処理量/(t)

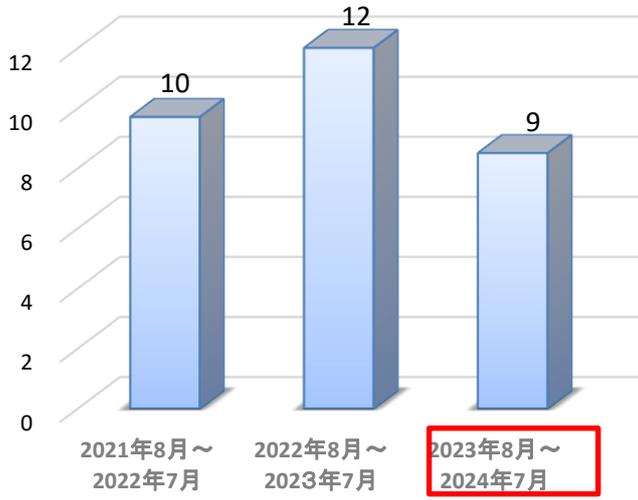


⑥ 一般廃棄物総排出量/(kg)

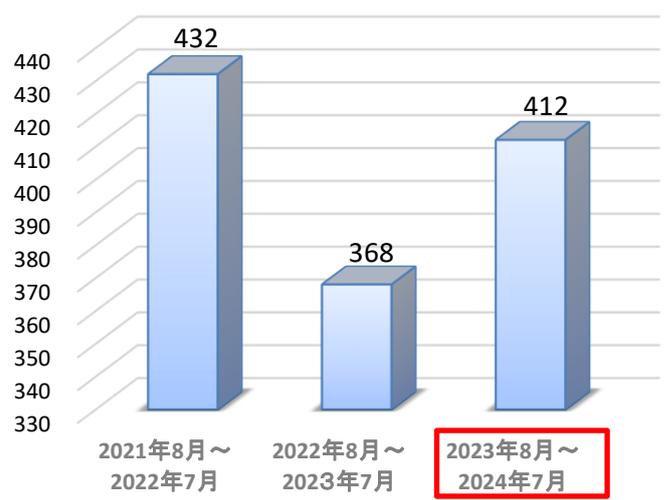


【3年間の比較】（2）

⑦産業廃棄物総排出量/(t)



⑧水使用量/(m³)



環境活動計画の取り組みと評価

活動計画・達成状況	環境活動計画の取り組み結果の評価
<p>1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 2023年に対し、1%削減</p> <p>目標の達成状況：+0.9%増 となり未達成</p>	<p>0.9%の目標超過となり、活動計画に対し未達成に終わった。 今年度は、二酸化炭素の総排出量は去年度よりも▲1.7%削減出来ているが、売上高減少により百万円当たりのCO2排出量は増加となり、目標はクリア出来なかった。 前年度と同様に取り組んできた為、CO2削減している。 今後もその意識を継続していく必要がある。</p> <p><u>次年度の取り組み</u> 引き続き適切な運搬ルート の 模索・アイドリングストップ・節電を目標に取り組んでいきたい。</p>
<p>2. 一般廃棄物排出量の削減 『目標』 2023年に対し、実績値以下</p> <p>目標の達成状況：+8.6%増 となり未達成</p>	<p>8.6%の増加となり、活動計画に対して未達成に終わった。 今年度も、契約書の作成・連絡事項等メールでのやりとりが多く、裏紙等の使用の効果が出てきていたが、廃棄物は増加となってしまった。 今後もその意識を継続していく必要がある。</p> <p><u>次年度の取り組み</u> 引き続き紙のリサイクル・仕事の電子化などに重点をおきゴミの削減に取り組む。</p>
<p>3. 水資源投入量の削減 『目標』 2023年に対し、1%削減</p> <p>目標の達成状況：+13.1%増 となり未達成</p>	<p>13.1%の増加となり、活動計画に対して未達成に終わった。 今年は、去年より廃棄物の入荷・出荷が少なかったが雨が少なく散水の使用が増えたためと思われる。 今後もその意識を継続していく必要がある。</p> <p><u>次年度の取り組み</u> 引き続き一人一人の節水意識の向上に取り組んでいきたい。</p>
<p>4. 排出事業者への廃棄物取扱の指導 『目標』 5.5件以下/月</p> <p>目標の達成状況：2.9件/月</p>	<p>前年度より減少出来ました。 近年、新規顧客等にコンテナの使用上の注意説明・当社への廃棄物の搬入方法など指導という形で行ってきた事が定着化して、減少したと思われる。 今後もその意識を継続していく必要がある。</p> <p><u>次年度の取り組み</u> 引き続き排出事業者及び現場作業員への指導に取り組んでいきたい。</p>
<p>6. 自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善 現状把握</p>	<p>今期も、入出荷ともに落ち着いた日が多く全体的に工場の安全点検に取り組めた。</p> <p><u>次年度の取り組み</u> 引き続き環境保全・安全運転に取り組んでいきたい。</p>

環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	主に取組んだこと	遵守状況
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	適合車を使用	遵法
浄化槽法	11条検査等実施	遵法
騒音規制法	基準値に適合	遵法
振動規制法	基準値に適合	遵法
消防法	設備点検の実施	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正な管理	遵法
フロン排出抑制法	点検の実施	遵法

2. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

年2回環境関連法規等遵守評価しています。2024年7月31日の環境関連法規等遵守状況の確認において、環境関連法規等への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

代表者による全体評価と見直し・指示の結果

総括：

エコアクション21に取組み15年が経過した。

2024年度は、日経平均株価が上昇し経済は持ち直しつつあるものの、物価高騰や住宅着工の減少などが建設業界に影響を及ぼし、弊社の木くず産業廃棄物の中間処理量は2023年度から比べると▲12.2%も減少して残念に思う。

経費面では、電気・軽油・ガソリンの価格の上昇が続いており、経営環境は厳しくなるばかりだ。

環境経営目標については、総二酸化炭素排出量、電気、ガソリンの使用量は減少傾向であると聞いているが、一方で軽油の使用量は増えている。

廃棄物の入荷・出荷ともに減少傾向であるので、軽油の使用量増加は歯止めが必要だ。原因分析を行い、全社的な対策を2025年度は実行したい。

指導件数は減少している。営業の方で新規業者を開拓しているが一層の努力を期待している。

今後も環境管理責任者を中心に環境経営体制を強化し、毎年の評価に基づき環境経営方針と活動計画の適切性を見直しながら、業界や社会の変化に対応した改善を進めてまいります。

2025年度も新たな気持ちで環境負荷低減に向けて全力で取り組んでまいります。